

気仙沼観光マーケティングレポート(令和 2 年 10 月～12 月)

◆今期のトピックス

- ・宿泊者数は、同期間前年比 118.1%で大幅に増加した。同期間前年比で「観光目的の宿泊」は123.4%と大幅に増加し、「復興関係者の宿泊」も 137.0%と大幅に増加した。「その他の宿泊」は 97.5%と横ばいだった。宿泊者居住地は、宮城県(50.6%)が最も多く、関東(14.4%)と続いた。同行者形態は、「ひとり旅行(17.8%)」が最も多く、「友人との旅行(17.6%)」「夫婦 2 人での旅行(16.4%)」と続いた。
- ・来訪目的は「グルメ(61.3%)」「自然・景観(41.2%)」「復興(33.5%)」が、スポットは「気仙沼大島大橋(38.3%)」「気仙沼大島(33.5%)」「海の市(25.9%)」が上位となり、前年同時期と比べて大きな変化はなかった。
- ・仙台・宮城からの来訪者の特徴は 90%以上が「自家用車・バイク」で来訪し、同行者形態は、「友人との旅行(21.1%)」が最も多く、「高校生以下を連れた家族旅行(18.3%)」、「大人のみの家族旅行(17.8%)」、「夫婦 2 人での旅行(17.2%)」と続いた。どの同行者形態でも、「グルメ」は目的として最多だった。「高校生以下を連れた家族旅行」は「30～40 歳代(71.9%)」が、「大人のみの旅行」「夫婦 2 人での旅行」は「40～50 歳代(47.6%)」が、「友人との旅行」は「50～60 歳代(62.1%)」が最多の年齢層だった。
- ・関東からの同行者形態は、「ひとり旅行(23.6%)」が最も多く、「夫婦 2 人での旅行(18.6%)」と続いた。どの同行者形態でも、「グルメ」は目的として最多だった。「ひとり旅行」は「50 歳～60 歳代(48.9%)」が、「夫婦 2 人での旅行」は「60 歳～70 歳代(61.1%)」が最多の年齢層だった。
- ・主要物販施設の利用人数の同期間前年比は、94.1%と減少した。
- ・観光施設の利用人数の同期間前年比は 70.5%と大幅に減少した。
- ・体験の利用人数の同期間前年比は、93.4%と減少した。修学旅行などの団体客が 10 月～12 月に集中したこともあり、プログラムによっては大幅に増加しものも見られた。
- ・一方で体験の利用金額の同期間前年比は、66.2%と大幅に減少した。団体客が集中したことにより単価が下がったことや個人客がそれほど増加しなかったことなどが原因と考えられる。
- ・観光案内所利用人数の同時期前年比は、103.9%と微増となった。

1. 宿泊

<宿泊施設トピックス>

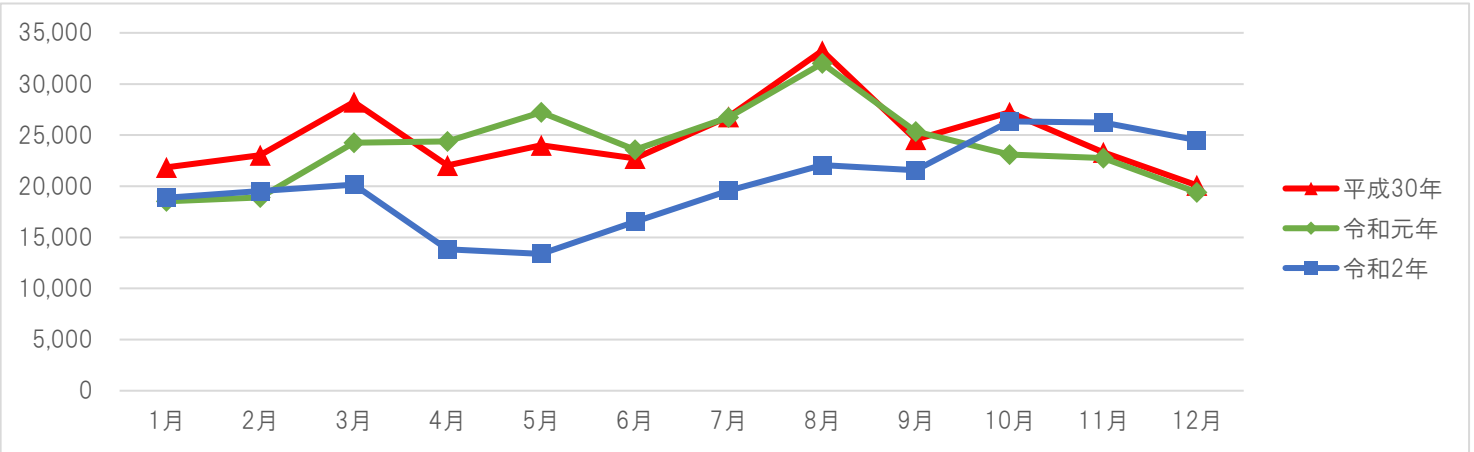
- ・宿泊者数の同月前年比は、宿泊者の「合計」は 10 月で 114.0%, 11 月で 115.3%, 12 月で 126.3%と大幅に増加し、3 か月連続で同月前年比を上回った。
- ・「観光」の宿泊者数の同月前年比は、10 月で 135.9%, 11 月で 122.0%, 2 月は 111.0%と 3 か月連続で大幅に増加した。
- ・「その他」の同月前年比は 10 月は 88.1%と減少した。11 月は 101.1%と横ばい、12 月は 106.6%と増加した。
- ・「復興関連」の同月前年比は 10 月は 105.3%と増加、11 月は 118.5%, 12 月は 194.2%と大幅に増加となった。
- ・宿泊者居住地は、宮城県(50.6%)が最も多く、関東(14.4%)と続いた。
- ・宿泊者数が好調だった一因として、GoTo トラベルキャンペーンの影響が考えられる。(新型コロナウイルスの感染拡大によって、キャンペーンは 12 月 28 日より全国一斉停止。)
- ・宿泊施設からは、10 月は「一般のお客様の8割は GoTo トラベルキャンペーン利用者でした。」「学生の団体利用が多かった。」「修学旅行は山形や栃木などこれまで気仙沼には来ていなかったエリアからの学校が目立つ。次年度まではコロナを見据えた東北圏への修学旅行を提案するという代理店(営業マン)の声が聞かれる。」「11 月は「7割以上のお客様が GoTo トラベルキャンペーンを利用してお宿泊でした。」「学生団体、スポーツ大会関連宿泊の多い月となりました。」「県外からのお客様も増加傾向だったが、中旬頃～コロナ感染拡大の報道も多くなり後半戦は予約数が弱くなってきた。」「12 月は「GoTo トラベルキャンペーン中止発表前までは順調に予約が入ってきており 12/28～1/2 までほぼ満室であったが、12/14 の発表後にキャンセルが一気に入り、停止期間中(12/28～1/11)でのキャンセル数は約 1,000 名にもなる。」「年末入っていた予約は GoTo トラベルキャンペーンの一時停止の発表後キャンセルが相次ぎ激減しました。」等のコメントが寄せられた。

(1)宿泊者数

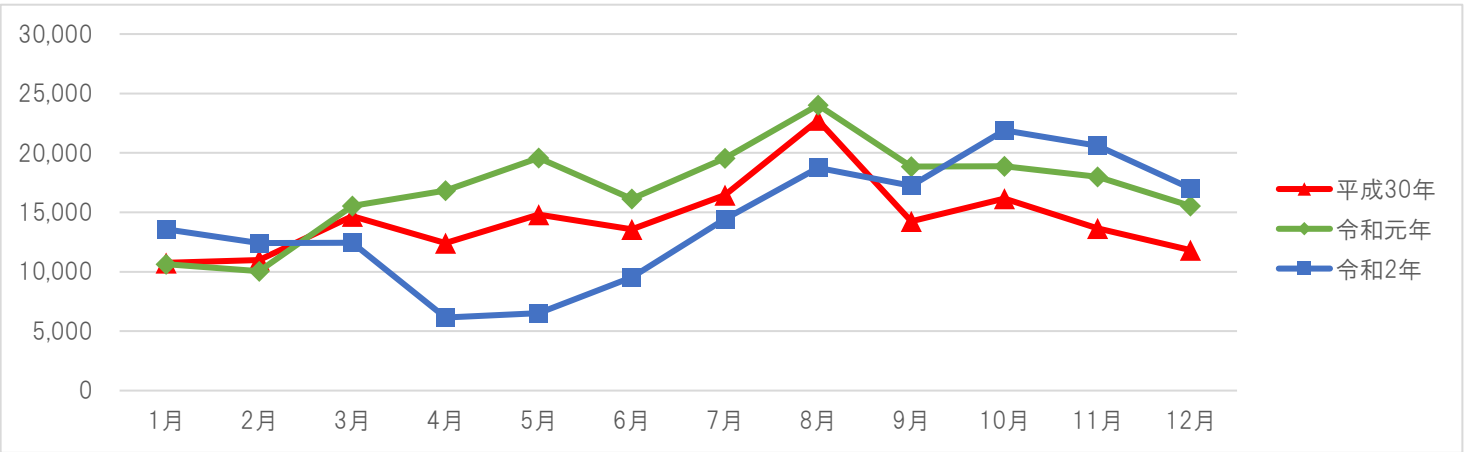
①同月前年比

(単位: 人)	平成 30 年				令和元年				令和 2 年			
目的	10 月	11 月	12 月	期間合計	10 月	11 月	12 月	期間合計	10 月	11 月	12 月	期間合計
観光	10,462	8,808	6,972	26,242	11,016	11,510	9,886	32,412	14,966	14,043	10,978	39,987
復興関連	11,061	9,648	8,268	28,977	4,216	4,757	3,870	12,843	4,441	5,639	7,516	17,596
その他	5,699	4,848	4,850	15,397	7,862	6,489	5,656	20,007	6,930	6,552	6,028	19,510
合計	27,222	23,304	20,090	70,616	23,094	22,756	19,412	65,262	26,337	26,234	24,522	77,093

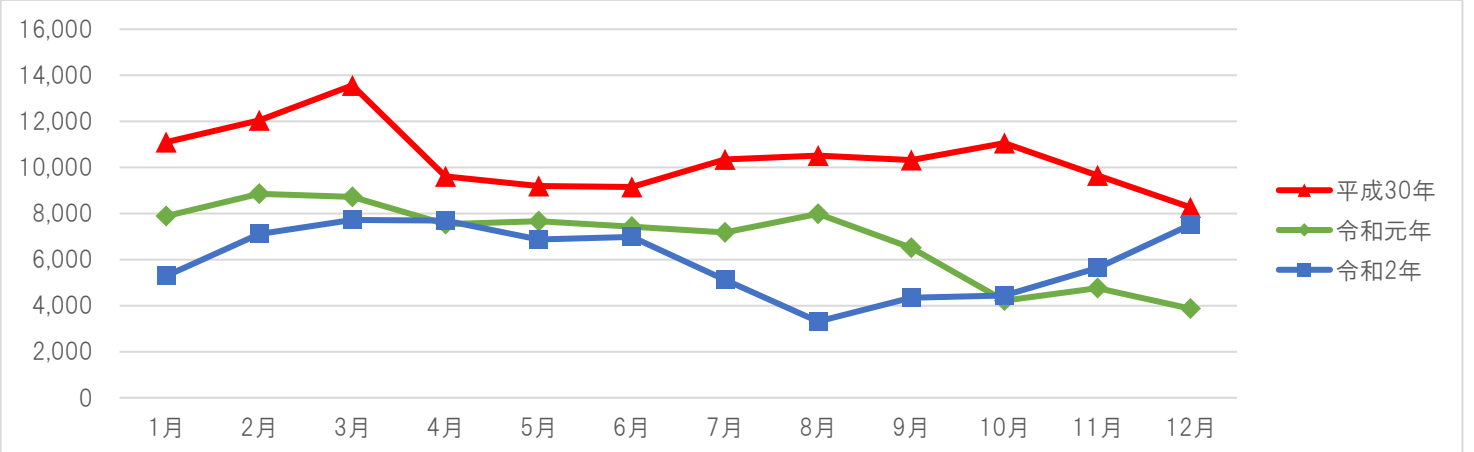
②年間推移(合計)



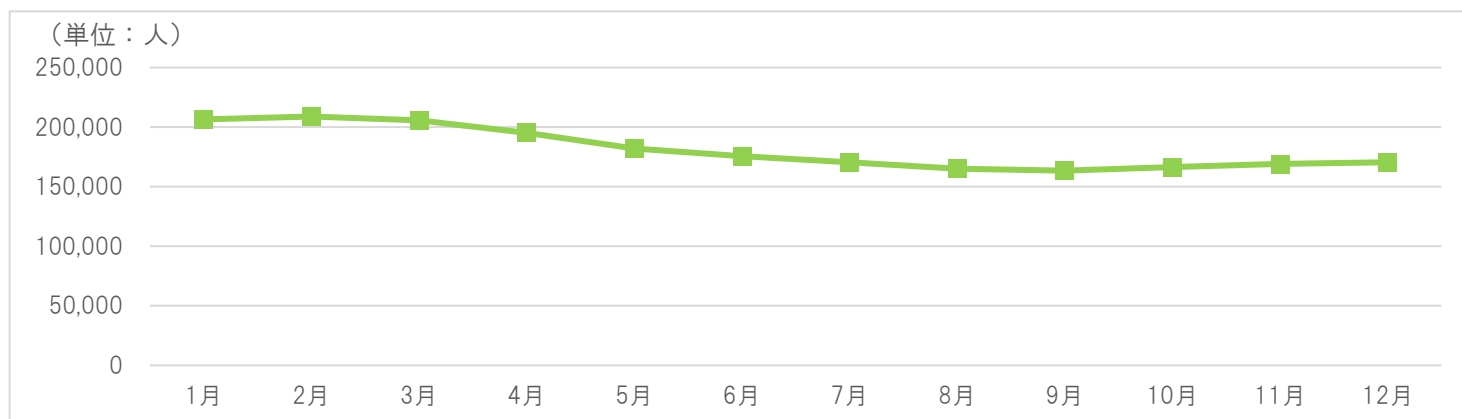
③年間推移(観光・その他)



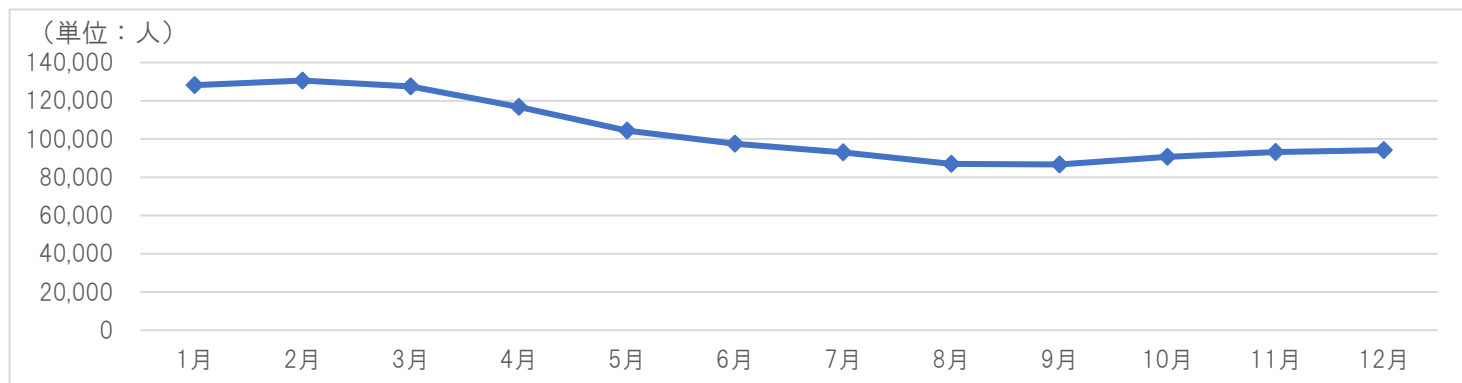
④年間推移(復興関係)



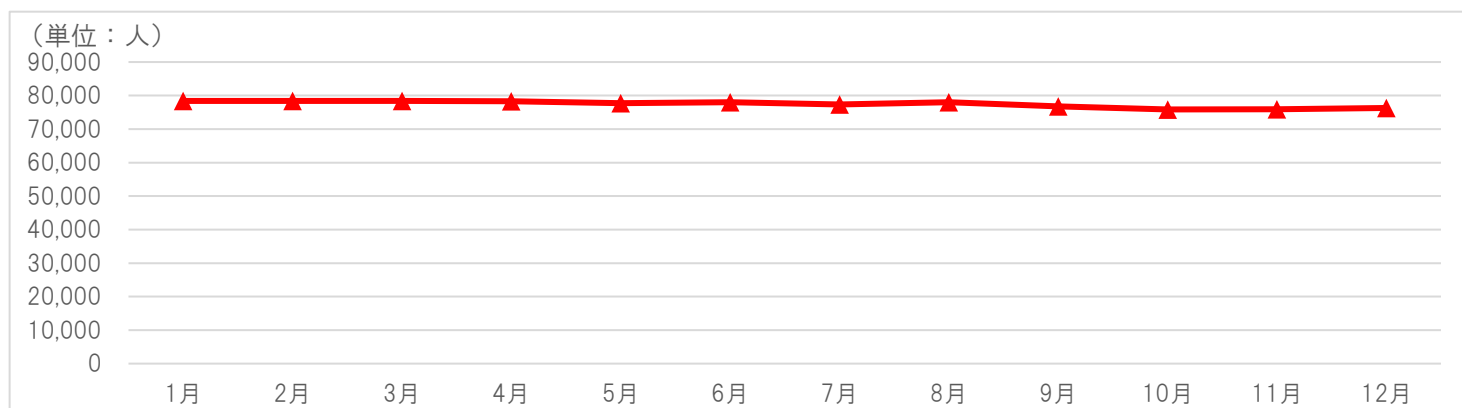
⑤移動年計(観光・その他)



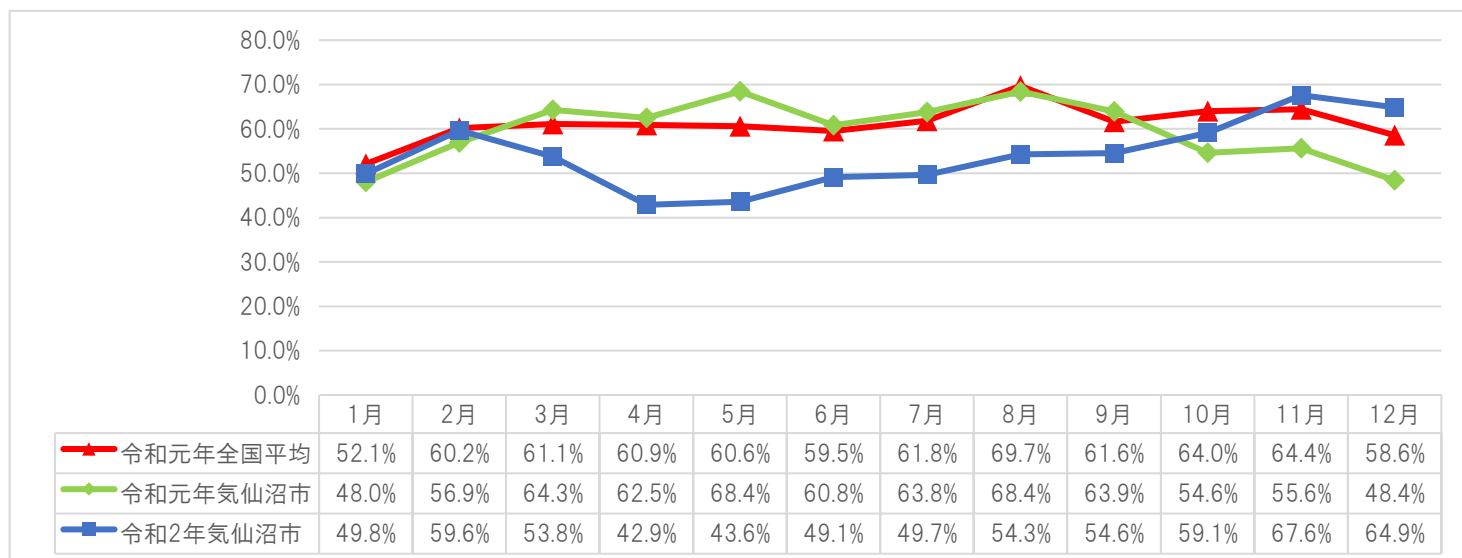
⑥移動年計(観光)



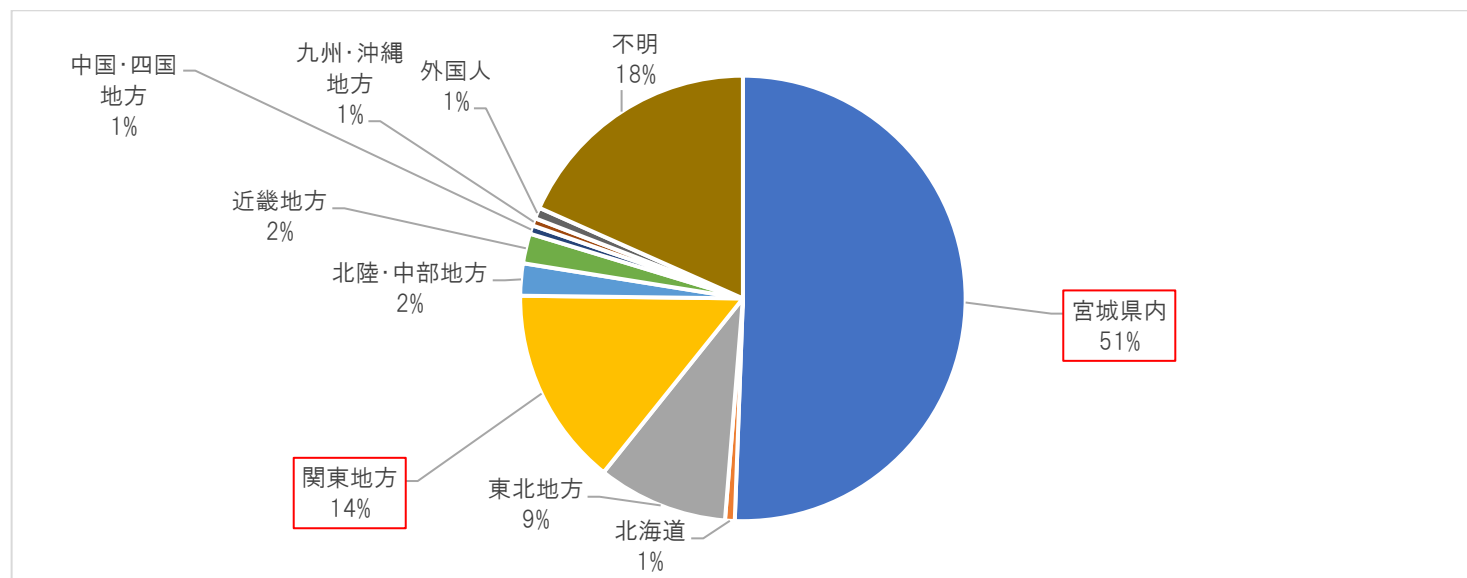
⑦移動年計(その他)



(2)客室稼働率 ※令和元年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(令和元年・年間値(速報版))より《参考データ》



(3) 宿泊者居住地



2. 気仙沼市への来訪者分析(出処:気仙沼市内観光客実態調査 調査期間:10月,12月 N=518)

<気仙沼市への来訪者特徴>

・今回の気仙沼市内観光客実態調査の回答者は、「60歳代」が最も多く20.6%、次いで「40歳代」が20.2%となった。回答者の居住地は、「関東」が最も多く38.5%、次いで「仙台・宮城」が36.0%となった。

・来訪回数では、「初めて」と回答した割合が34.9%と最も多くなったが、前年同時期と比較すると「初めて」と回答した割合は若干減少した。

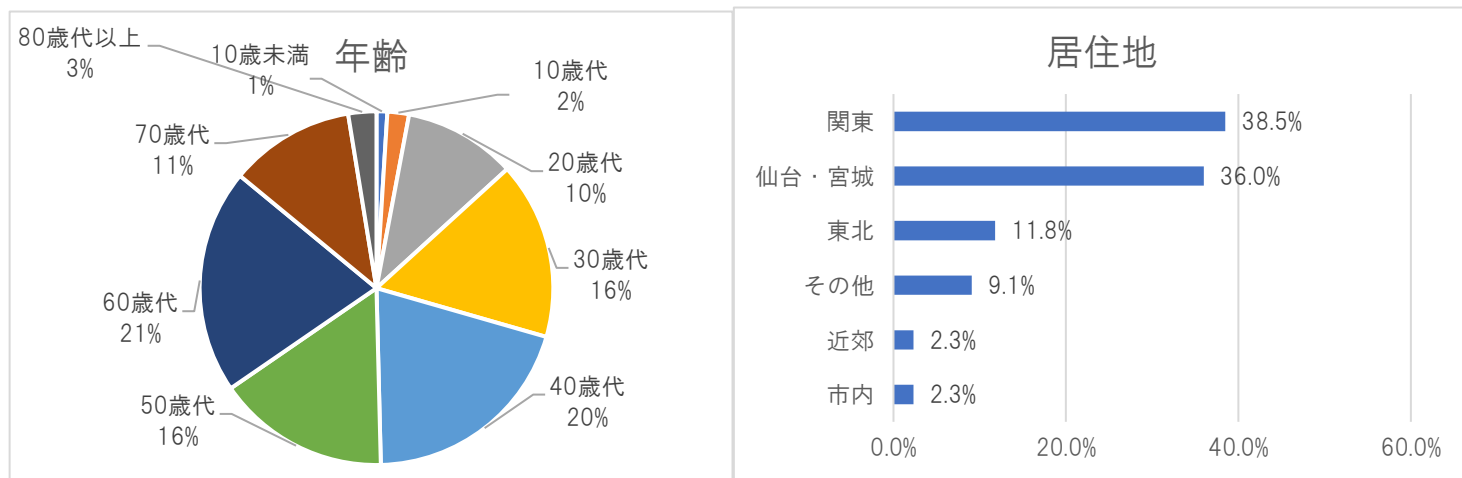
・同行者については、「2人」と回答した割合が36.7%と最も多くなった。前年同時期と比較して、大きな変化はない。

・同行者形態については、「ひとり旅行」が17.8%と最も多くなった。次いで、「友人との旅行」が17.6%、「夫婦2人での旅行」16.4%となった。

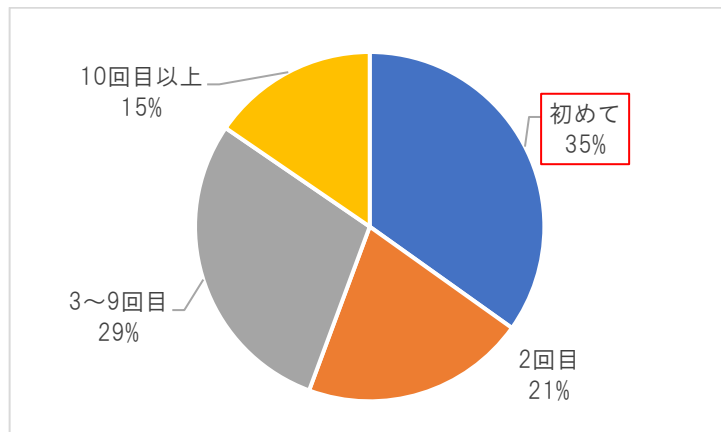
・交通手段については、約64.4%が「自家用車・バイク」と回答した。

(1)来訪者の特徴

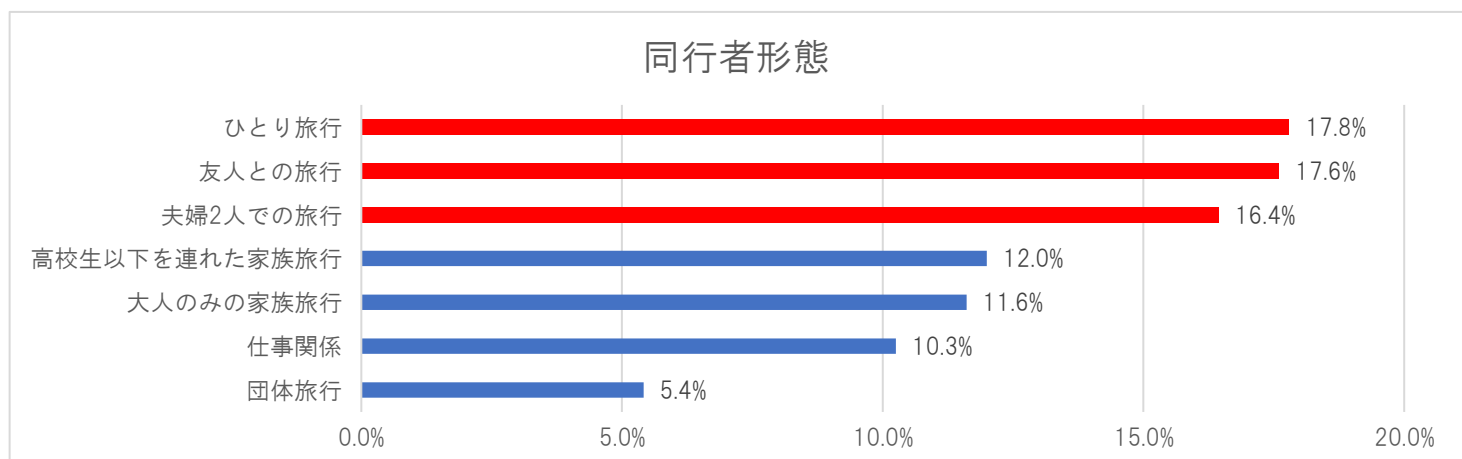
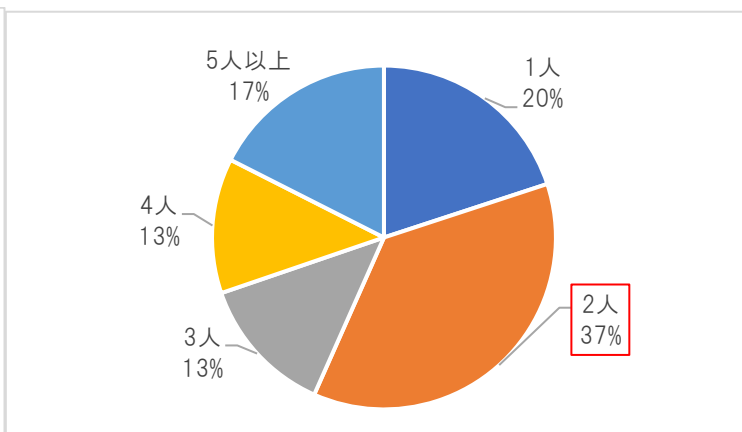
①属性



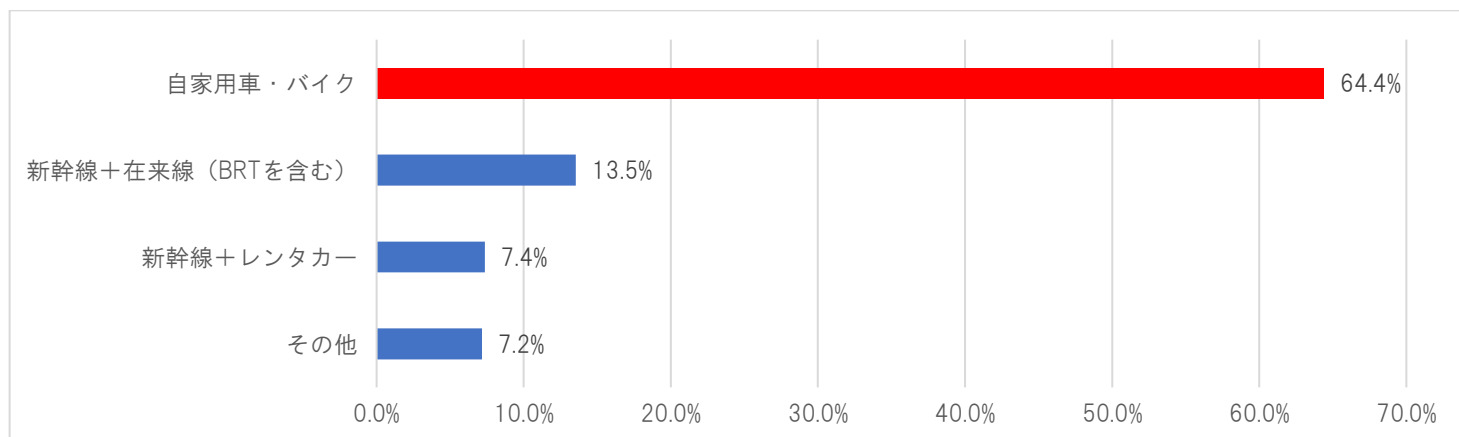
②来訪回数



③同行者



④交通手段

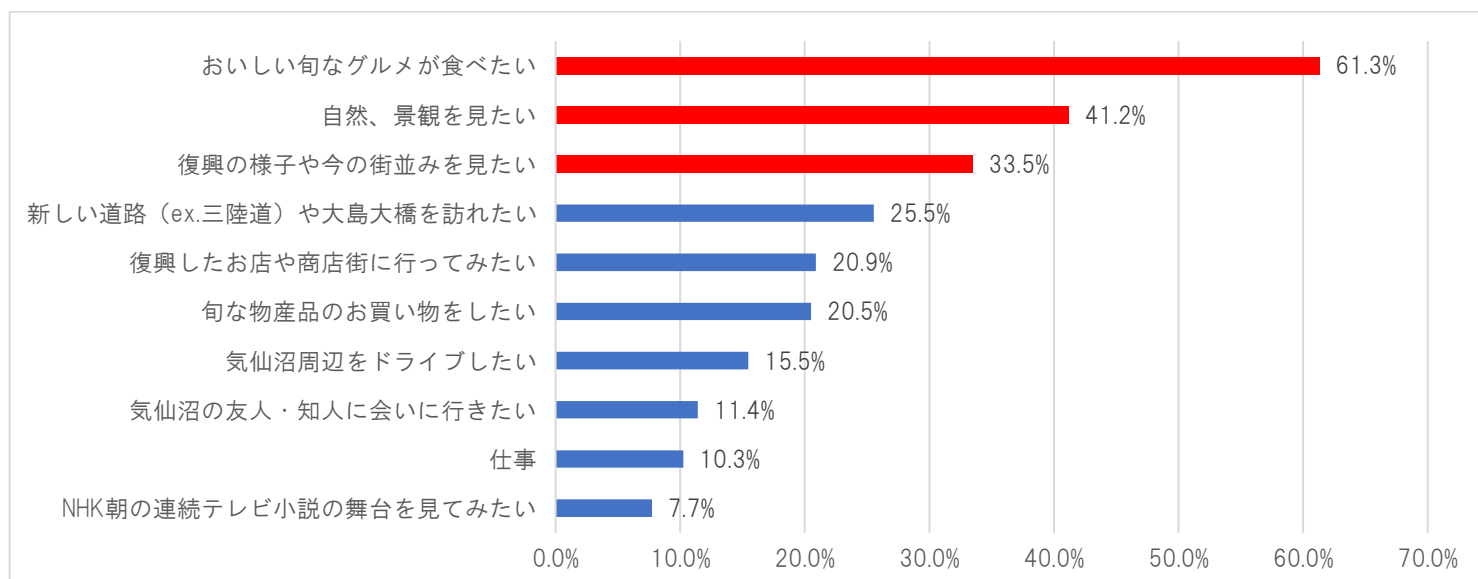


(2)来訪目的考察

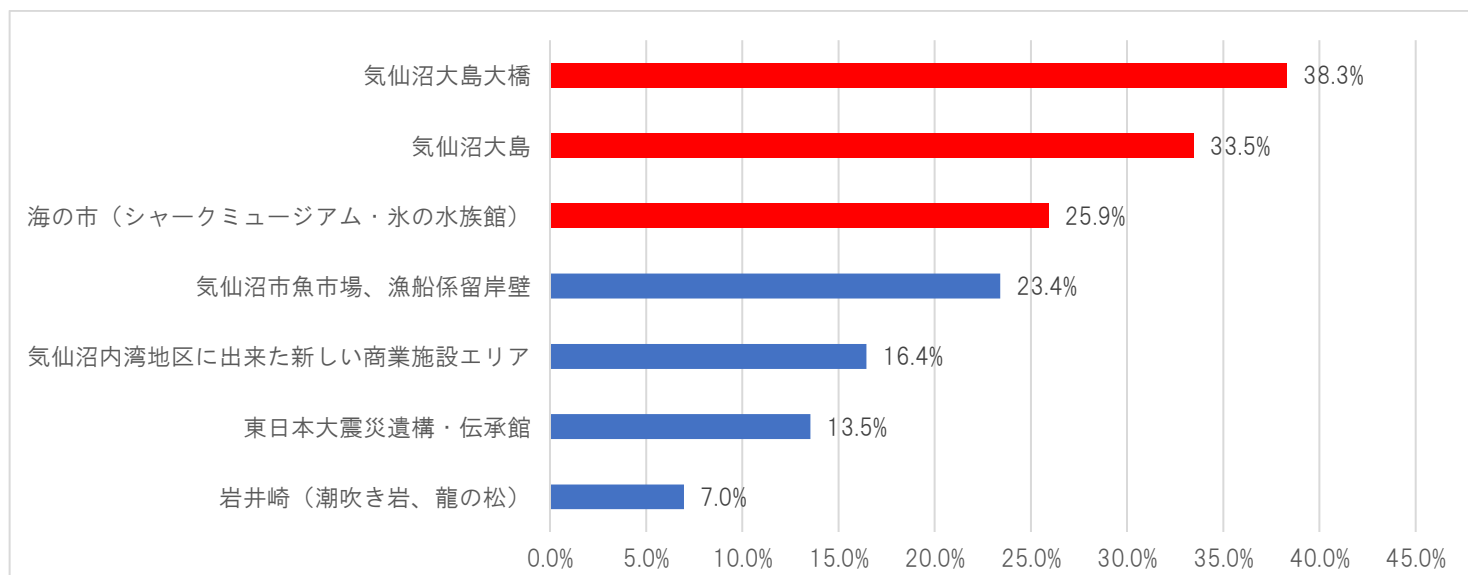
<来訪目的分析トピックス>

- ・気仙沼への主な来訪目的は「おいしい旬なグルメが食べたい」が 61.3%と最も高く、次いで「自然、景観を見たい」が 41.2%となった。
- ・宿泊客の来訪目的となったスポットは「気仙沼大島大橋」が 38.3%と最も多くなった。「気仙沼大島」、「海の市(シャークミュージアム・氷の水族館)」と続いた。」
- ・同時期前年と比べ、目的とスポットの順位に大きな変動はなく、大島への関心が高くなった。

①来訪目的



②来訪の目的となったスポット



(3) 仙台・宮城圏の特徴

・交通手段については、90%以上が「自家用車・バイク」と回答した。

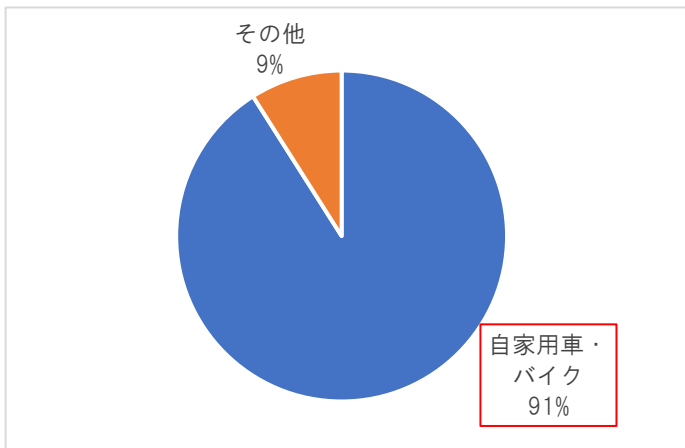
・同行者形態については、「友人との旅行」「高校生以下を連れた家族旅行」「大人のみの家族旅行」「夫婦 2 人での旅行」が多かった。

・「高校生以下を連れた家族旅行」は「30～40 歳代」が 71.9%を占め、全体と比べて「海の市(57.6%)」「内湾地区の新しい商業施設(30.3%)」への興味が高かった。

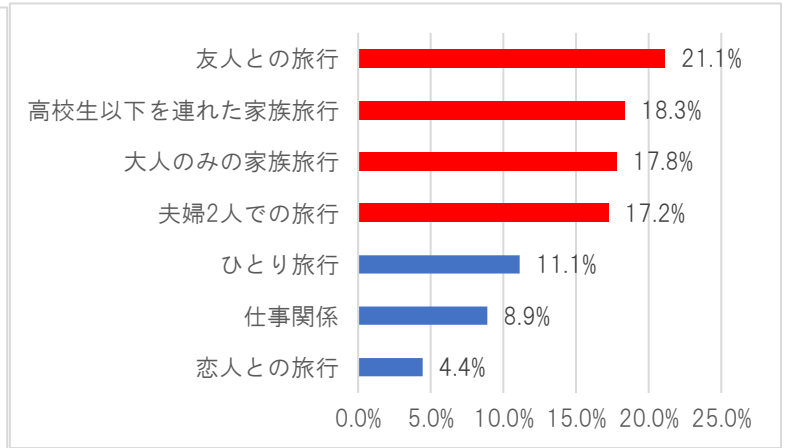
「大人のみの旅行」「夫婦 2 人での旅行」は「40～50 歳代」が 47.6%を占め、全体と比べて「新しい道路や大島大橋(39.7%)」への興味が高かった。

「友人との旅行」は「60～70 歳代」が 62.1%を占め、全体と比べて「新しい道路や大島大橋(47.4%)」「復興(47.4%)」への興味が高かった。

①交通手段

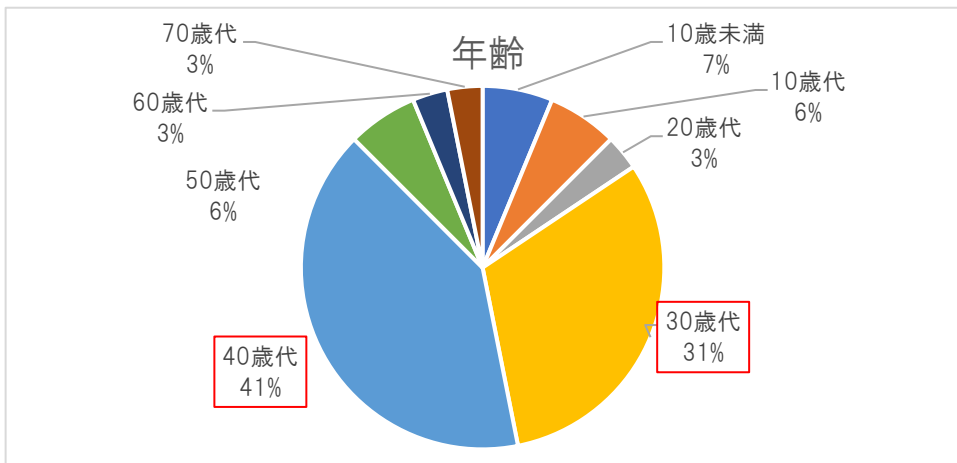


②同行者

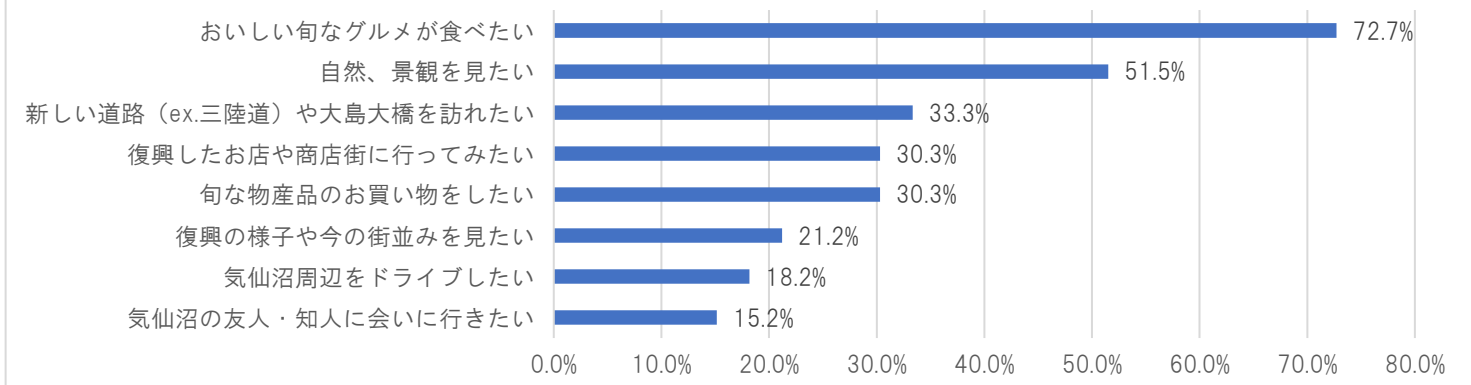


③同行者毎の特徴

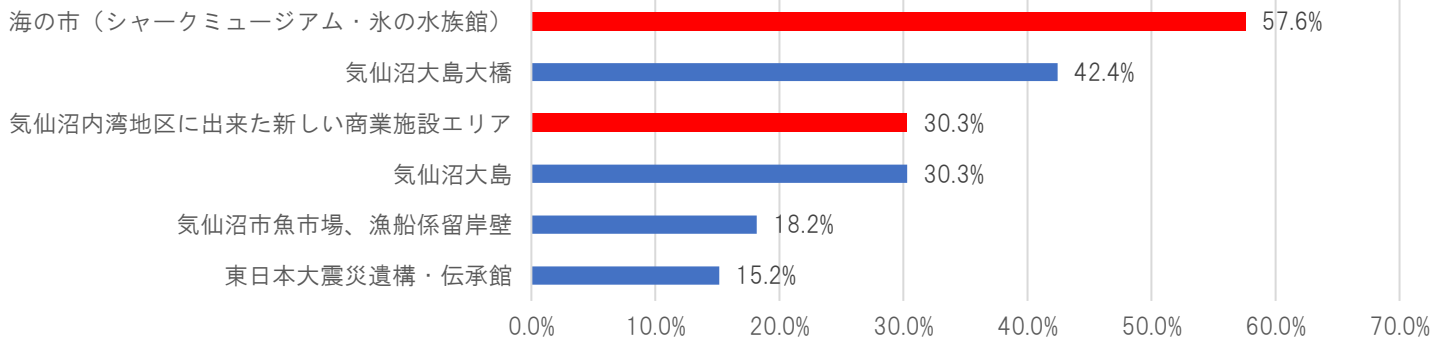
➤ 高校生以下を連れた家族旅行



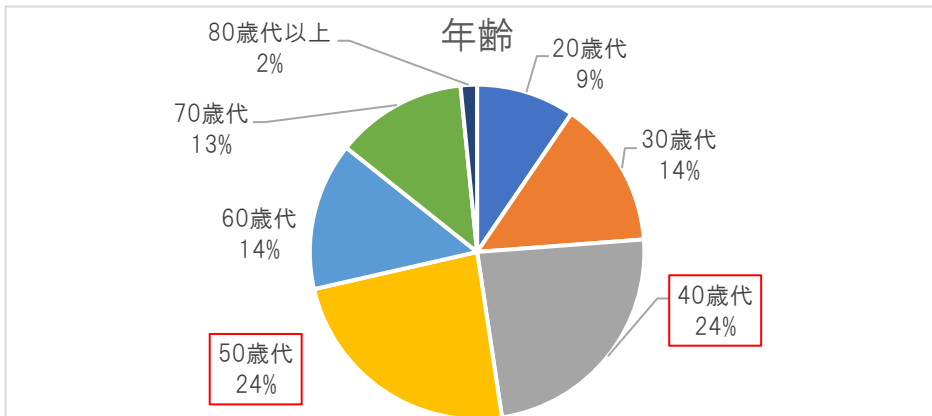
来訪目的



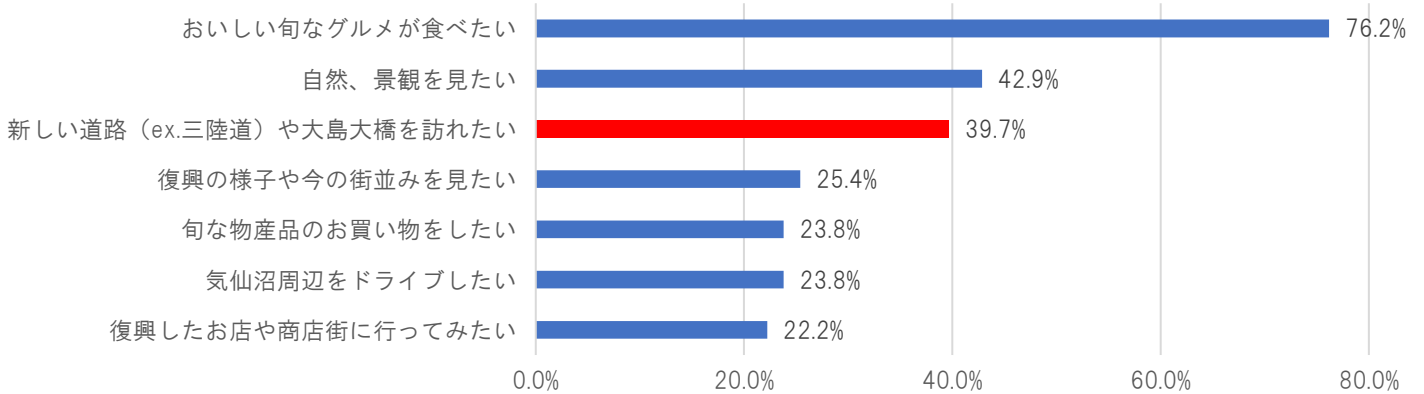
スポット



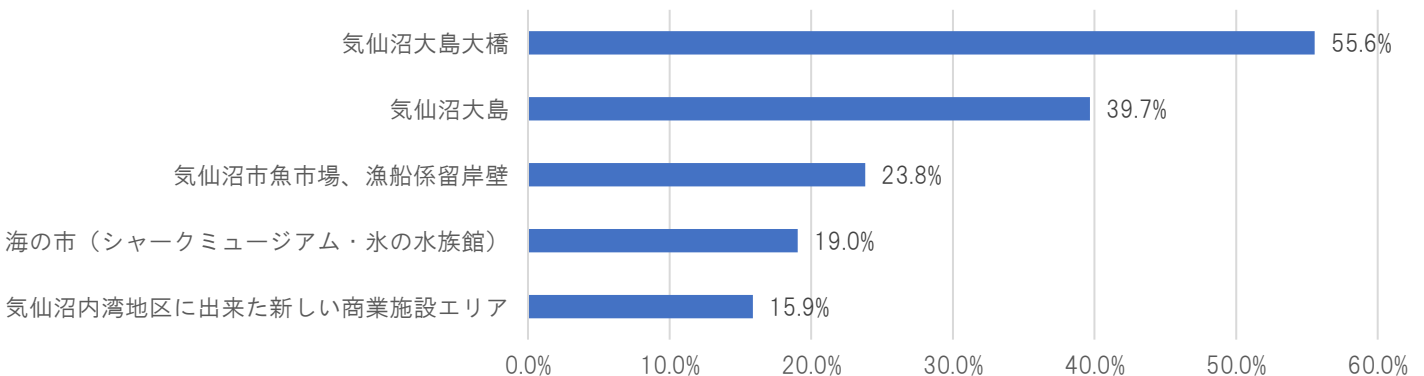
大人のみの家族旅行・夫婦 2 人での旅行



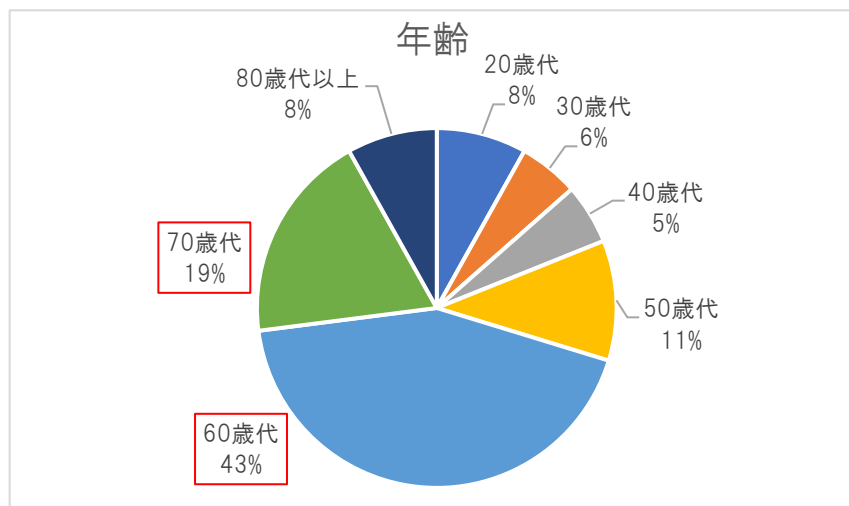
来訪目的



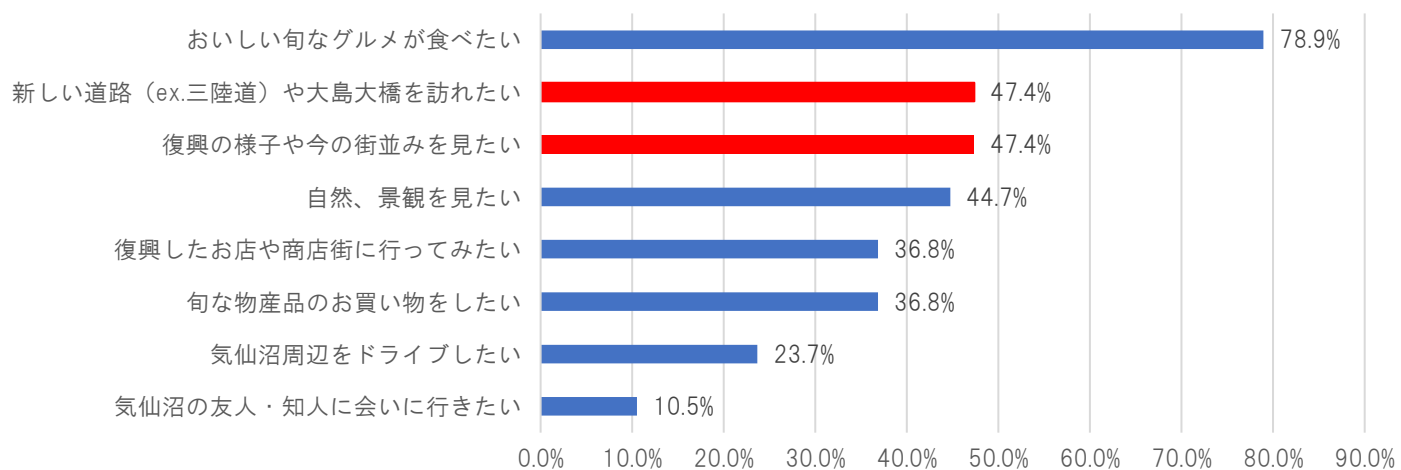
スポット



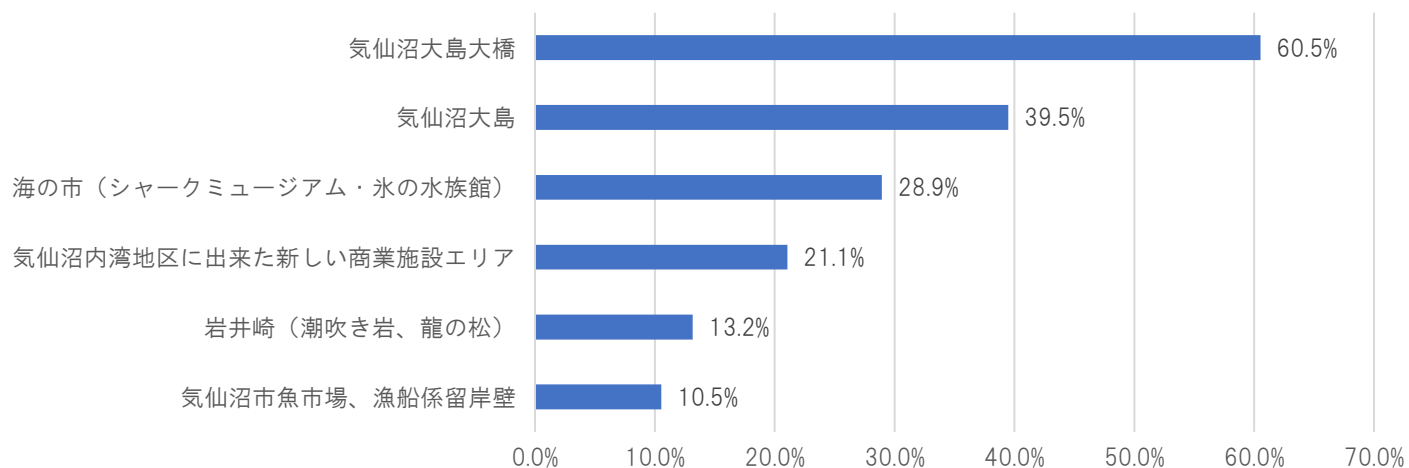
➤ 友人との旅行



来訪目的



スポット



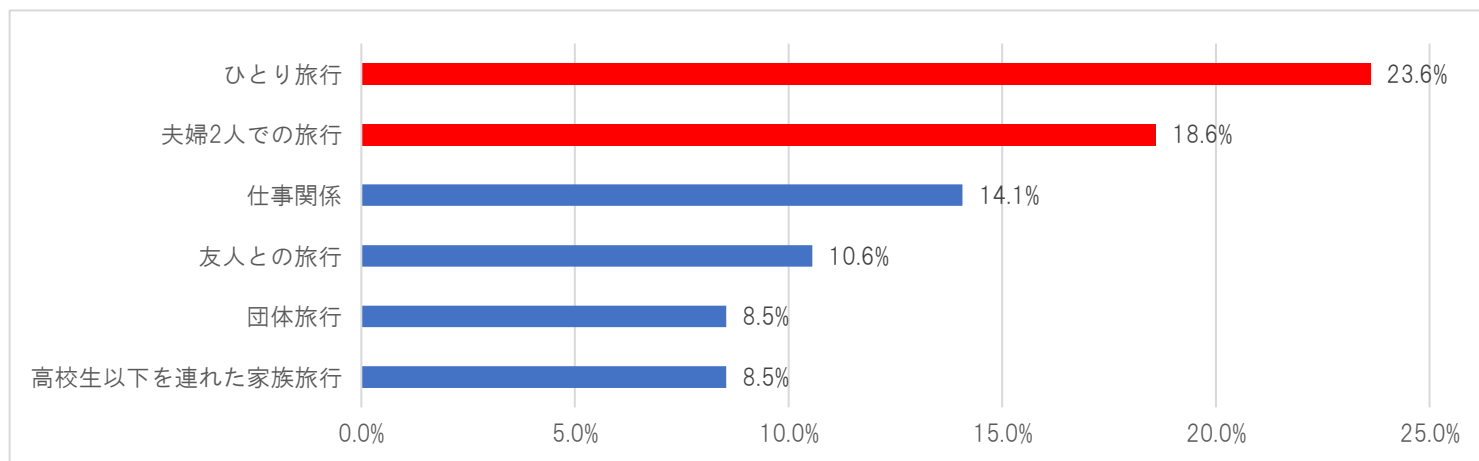
3) 関東圏の特徴

・2 番目に来訪者が多かった「関東」からは、「ひとり旅行」での来訪が、23.6%が一番多かった。次いで、夫婦 2 人での旅行が 18.6%と多かった。

・「ひとり旅行」は「50 歳～60 歳代」が 48.9%を占め、「新幹線＋在来線(48.9%)」での来訪が最も多かった。

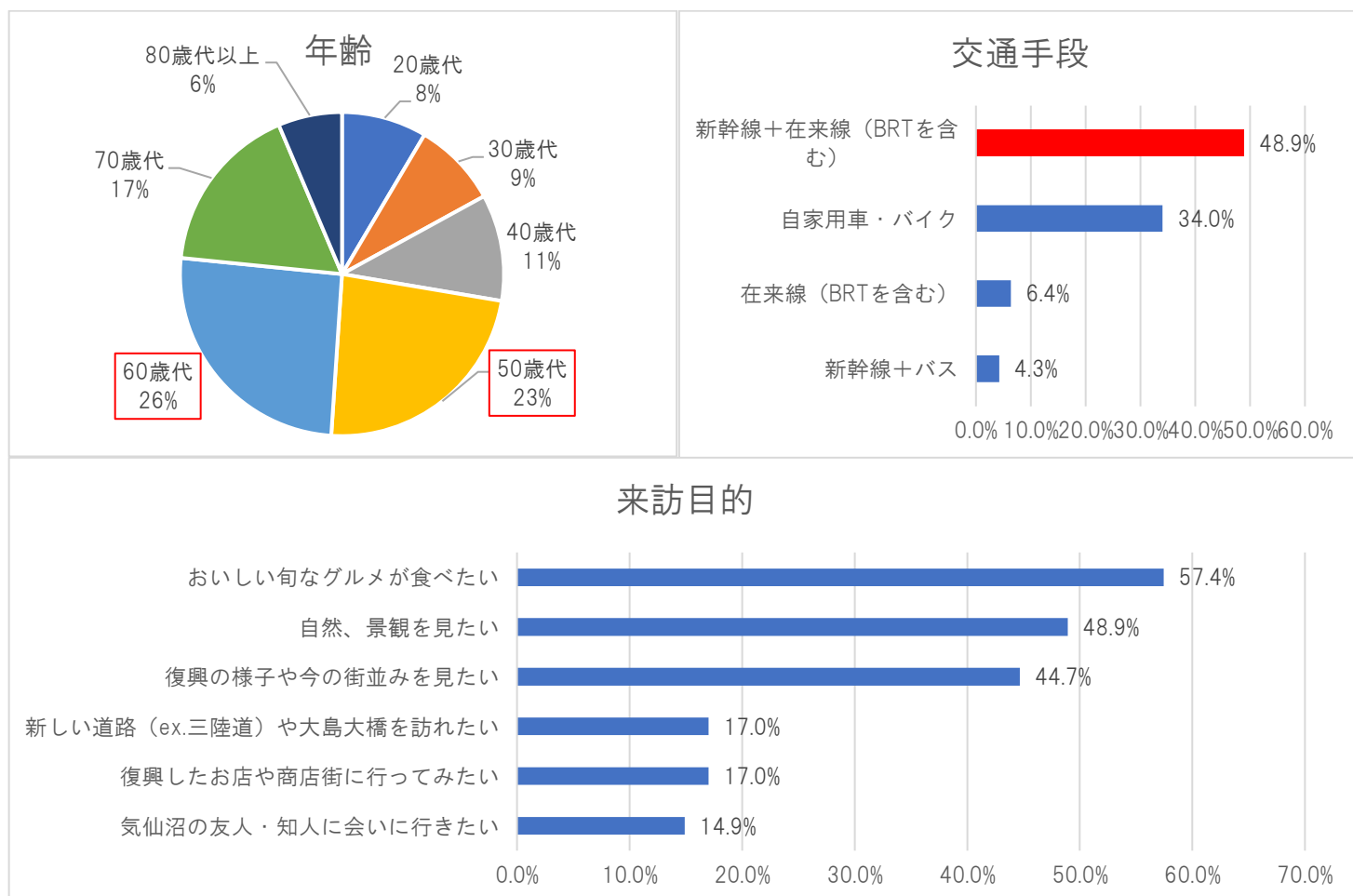
「夫婦 2 人での旅行」は「60 歳～70 歳代」が 59.4%を占め、「自家用車・バイク(62.2%)」での来訪が最も多かった。「伝承館」を目的のスポットとしている割合が多いのが特徴。

① 同行者

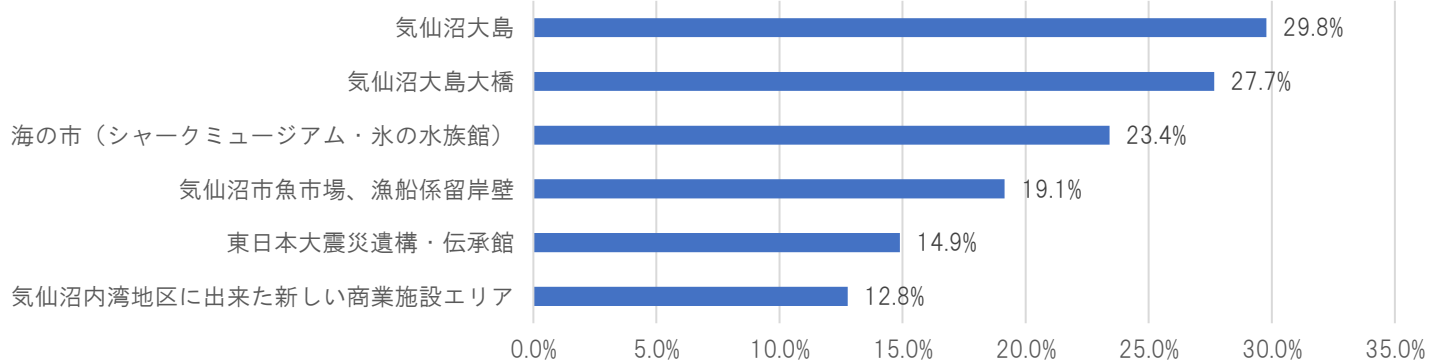


② 同行者毎の特徴

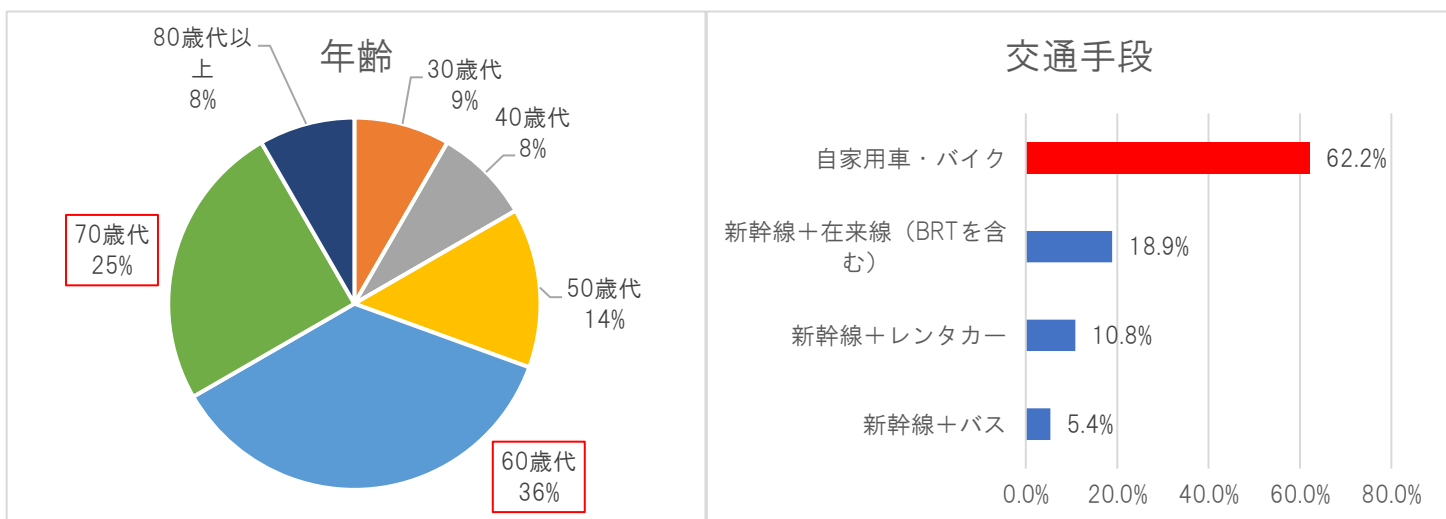
➤ ひとり旅行



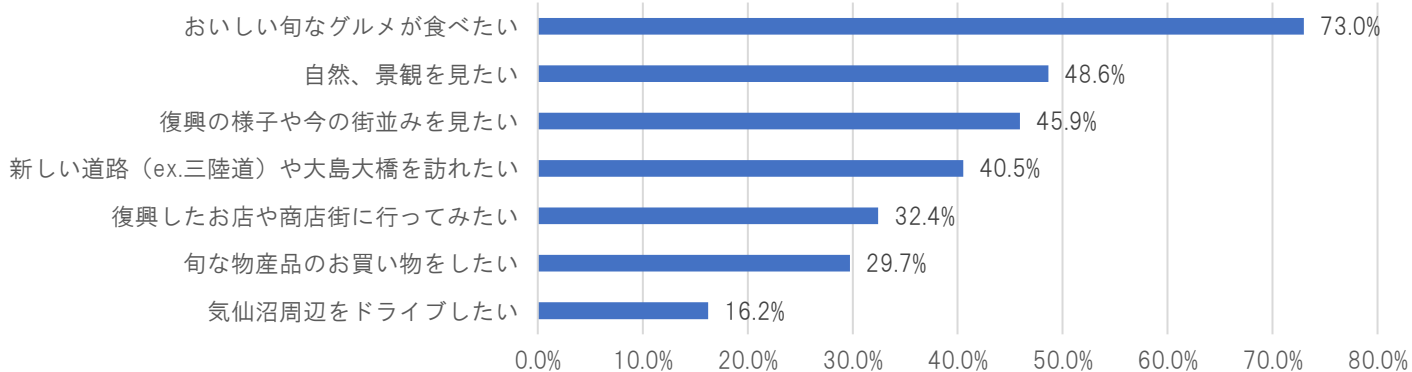
スポット



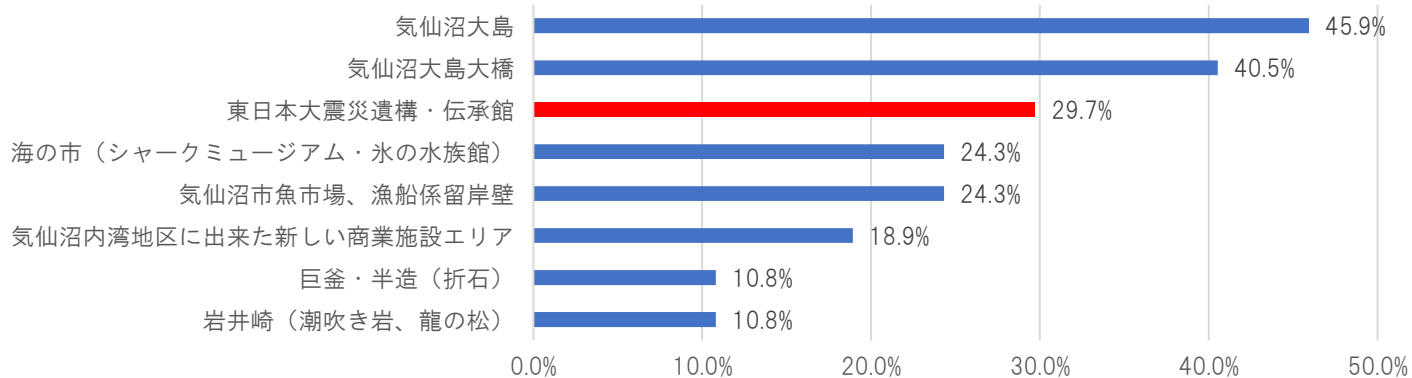
夫婦 2 人での旅行



来訪目的



スポット



今季の結果から見えてきた訪問者の特徴

■ 仙台・宮城からの訪問者

仙台・宮城からの訪問者は、自家用車・バイクでの来訪が多い。そのため、全体と比べて「新しい道路や大島大橋」を目的とする人が多い。また、おいしい旬なグルメは変わらず最大の目的である。以下の通り、3つのターゲット像が見えてきた。

同行者形態	年齢	目的	スポット
高校生以下を連れた家族旅行	・30～40 歳代	①グルメ ②自然・景観 ③新しい道路や大島大橋	①海の市 ②気仙沼大島大橋 ③内湾地区の新しい商業施設
大人のみの旅行 夫婦 2 人での旅行	・40～50 歳代	①グルメ ②自然・景観 ③新しい道路や大島大橋	①気仙沼大島大橋 ②気仙沼大島 ③魚市場・漁船係留岸壁
友人との旅行	・50～60 歳代	①グルメ ②新しい道路や大島大橋 ③復興	①気仙沼大島大橋 ②気仙沼大島 ③海の市

高校生以下を連れた家族旅行

海の市と内湾地区の新しい商業施設への興味が強い。これらの施設を絡め「家族でどのように楽しめるか」を訴求すると効果的である。

大人のみの旅行・夫婦 2 人での旅行

魚市場・漁船係留岸壁への興味が強い。「気仙沼ならではの風景」を訴求すると効果的である。

友人との旅行

「復興の様子や今の街並み」への興味が強い。新しい道路や大島大橋への興味も高く、「新しくできた何か」の訴求が効果的である。

■ 関東からの訪問者

関東からの訪問者の目的は、全体と大差ない。特筆すべきは、昨年度まで目的の 1 番目であった「復興の様子や今の街並みを見る」が 3 番目になっている点だ。また、おいしい旬なグルメは変わらず最大の目的である。以下の通り、2つのターゲット像が見えてきた。

同行者形態	年齢	交通手段	目的	スポット
ひとり旅行	・50～60 歳代	①新幹線＋在来線 ②自家用車・バイク	①グルメ ②自然・景観 ③復興の様子や今の街並み	①気仙沼大島 ②気仙沼大島大橋 ③海の市
夫婦 2 人での旅行	・60～70 歳代	①自家用車・バイク ②新幹線＋在来線	①グルメ ②自然・景観 ③復興の様子や今の街並み	①気仙沼大島 ②気仙沼大島大橋 ③東日本大震災遺構・伝承館

ひとり旅行

約半数程度が「新幹線＋在来線」での来訪である。この年齢層に合わせた市内のモビリティと回り方の提案が必要である。

夫婦 2 人での旅行

ひとり旅行とは異なり、「自家用車・バイク」での来訪が多い。復興への興味が合わさり「伝承館」への訪問が多くなっていると予想できる。

3. 物販施設(レジ通過者数)

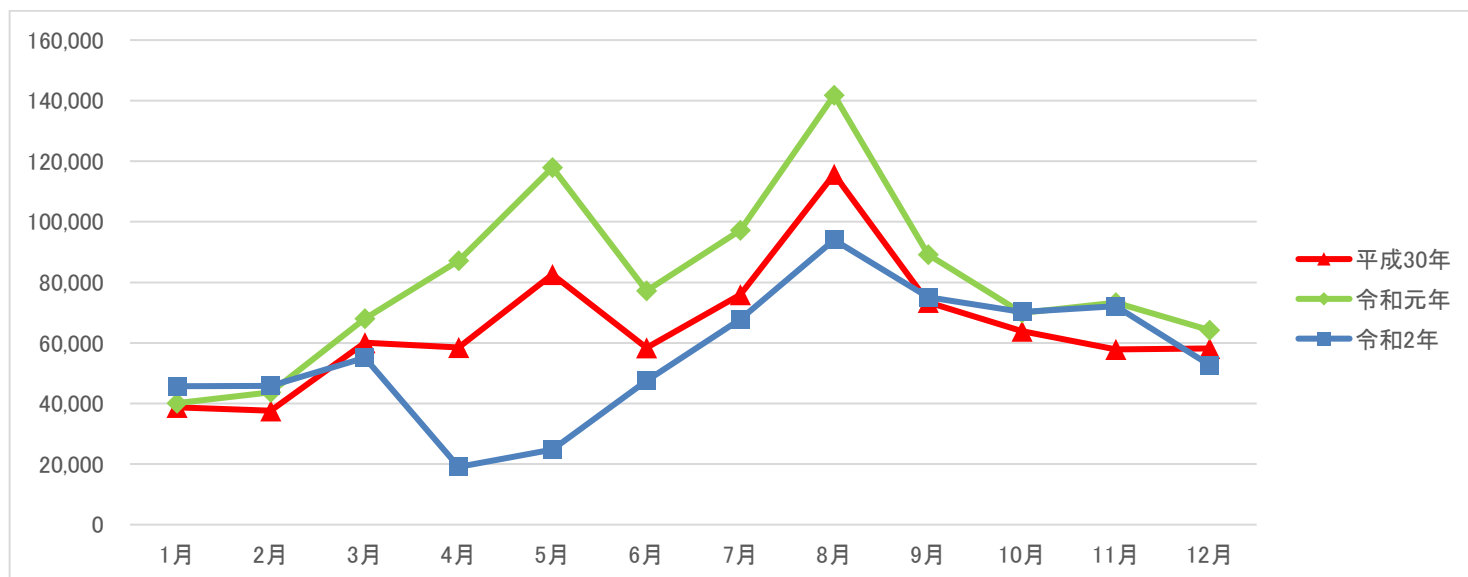
<物販施設ピックアップ>

- ・レジ通過者数の同月前年比、10月で100.5%と横ばい、11月で98.5%横ばい、12月で82.0%大幅に減少した。
- ・3か月間の通算の前年対比では、施設Aは92.0%と微減、施設Bは95.1%横ばい、施設Cは89.6%と減少となった。施設Dは131.5%と大幅に増加となった。
- ・11月中旬から再拡大した新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられる。物販施設によって利用者層が異なることが予想でき、新型コロナウイルス感染症の影響の大きさも異なっていると考えられる。

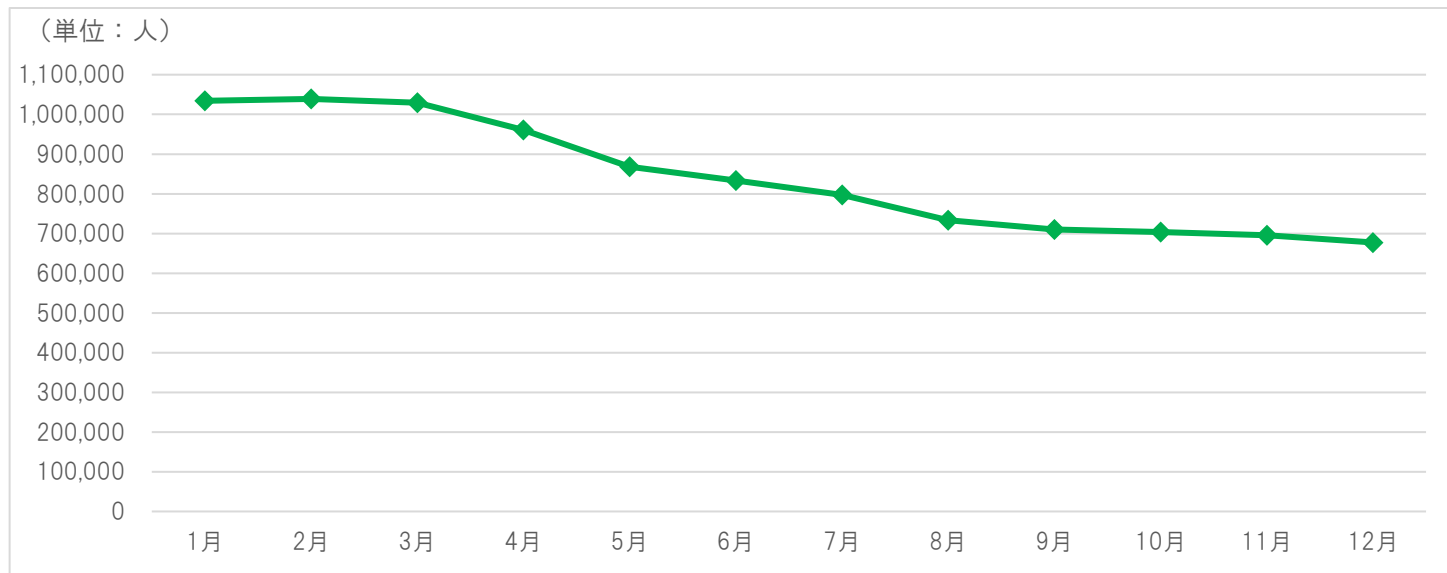
(1) 同月前年比

物販施設	平成30年				令和元年				令和2年			
	10月	11月	12月	期間合計	10月	11月	12月	期間合計	10月	11月	12月	期間合計
施設A	34,762	31,919	30,190	96,871	37,701	40,957	35,219	113,877	36,411	40,202	28,141	104,754
施設B	20,956	18,355	17,496	56,807	24,419	25,171	19,406	68,996	25,241	23,641	16,704	65,586
施設C	5,849	5,126	8,144	19,119	5,723	4,785	7,407	17,915	5,408	5,219	5,429	16,056
施設D	2,372	2,418	2,378	7,168	2,057	2,339	2,164	6,560	3,155	3,103	2,369	8,627
総計	63,939	57,818	58,208	179,965	69,900	73,252	64,196	207,348	70,215	72,165	52,643	195,023

(2) 年間推移



(3) 移動年計



4. 観光施設(利用人数)

<観光施設ピックアップ>

・観光施設の利用人数の同月前年比は、10月で49.0%と大幅に減少、11月で100.7%と横ばい、12月で78.0%と大幅に減少した。
・施設ごとに見た3ヶ月通算の前年対比は、施設アで22.8%と大幅に減少、施設イで104.2%と横ばい、施設ウで123.2%と大幅に増加、施設エで113.1%と増加、施設オで80.1%と大幅に減少となった。

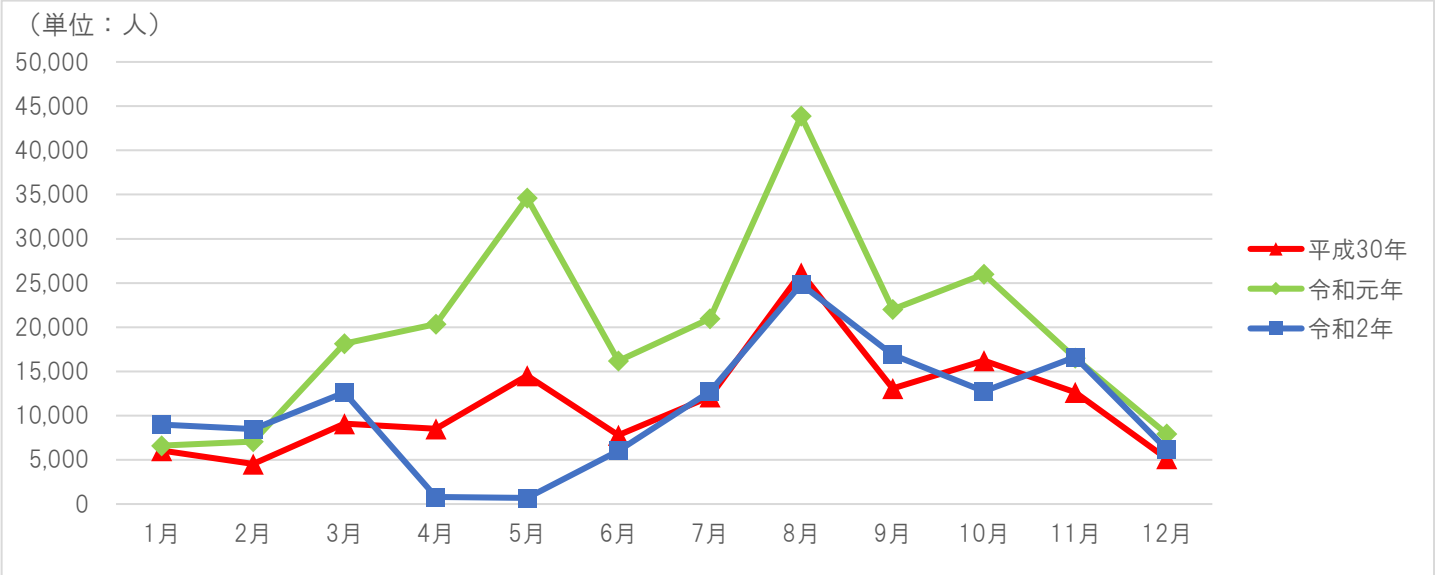
(1)同月前年比

(単位:人)

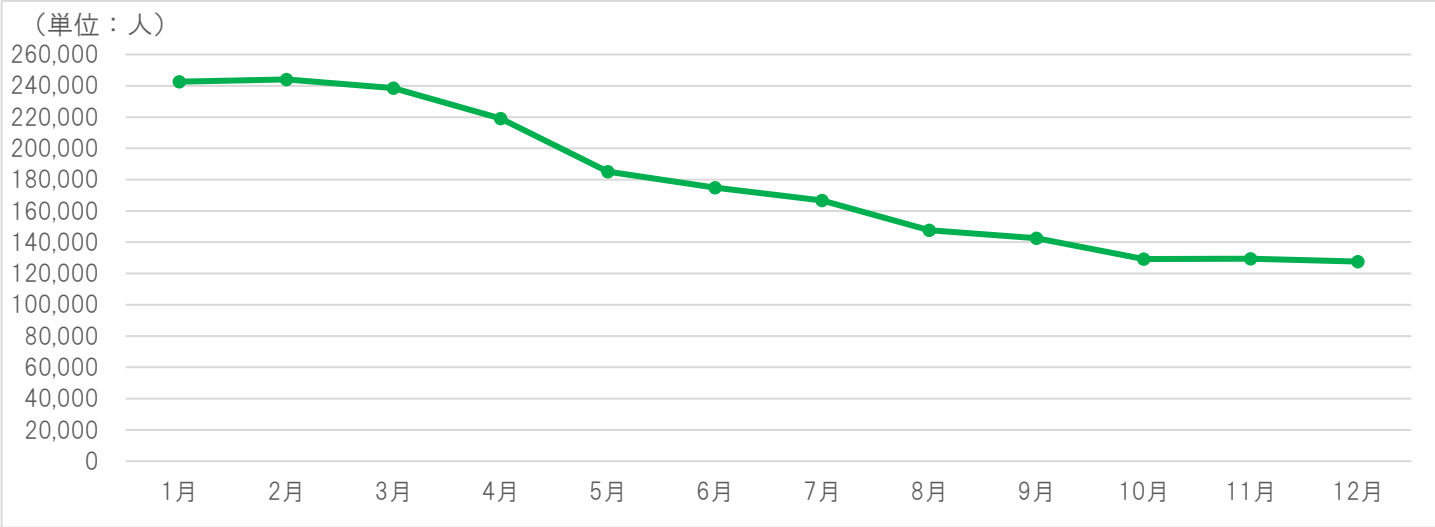
観光施設	平成30年				令和元年				令和2年			
	10月	11月	12月	期間合計	10月	11月	12月	期間合計	10月	11月	12月	期間合計
施設ア	9,224	6,910	1,402	17,536	12,105	3,788	1,547	17,440	1,099	2,496	375	3,970
施設イ	2,782	2,737	1,622	7,141	2,973	3,220	2,018	8,211	3,065	3,595	1,895	8,555
施設ウ	1,730	1,146	692	3,568	1,104	737	365	2,206	854	1,425	438	2,717
施設エ	2,480	1,859	1,434	5,773	2,317	2,604	1,807	6,728	2,705	3,289	1,617	7,611
施設オ					7,497	6,161	2,203	15,861	5,011	5,825	1,866	12,702
合計	16,216	12,652	5,150	34,018	25,996	16,510	7,940	50,446	12,734	16,630	6,191	35,555

※令和元年6月より、観光施設の表記は従来のアルファベットからカタカナに変更している。

(2)年間推移



(3)移動年計



5. 体験・ガイドプログラム

＜体験・ガイドプログラムトピックス＞

・体験・ガイドプログラムの全体の体験人数の同月前年比は、10月で59.4%と大幅に減少した。11月は177.2%、12月は148.1%と大幅に増加した。

・体験金額の同月前年比は、10月で54.8%、11月で79.0%、12月で80.7%と大幅に減少した。

・塩づくり体験(階上地区)は、修学旅行などの団体がこの時期に集中したことにより同時期前年比が2倍以上となった。

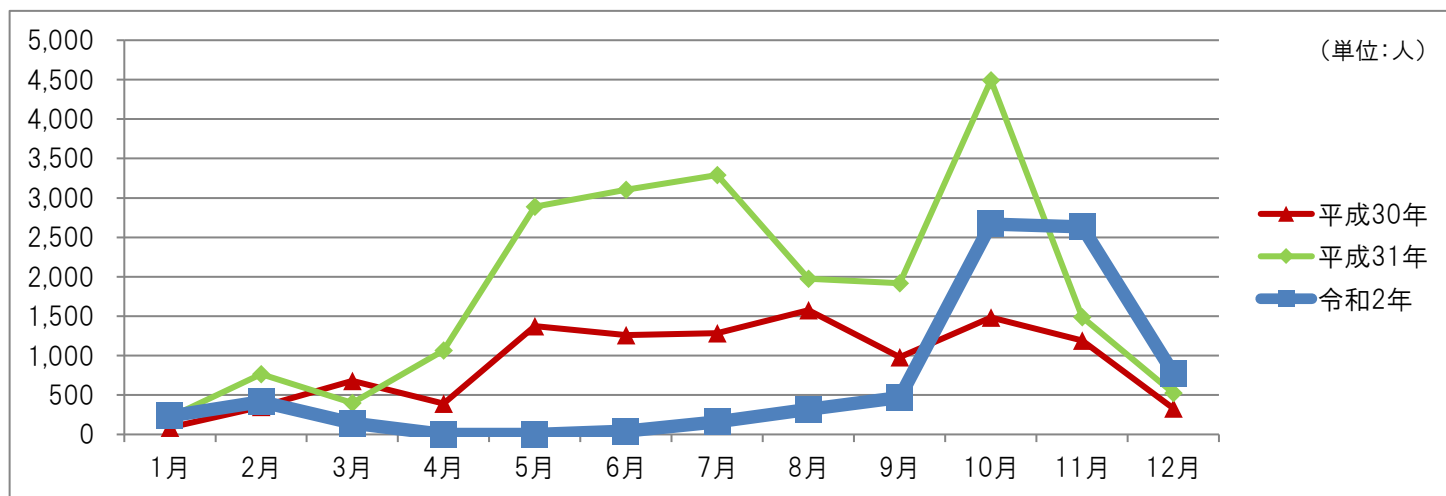
「語り部(観光協会)に関しては、例年の利用のある学校からのキャンセルが相次ぎ、10月は大幅な減少となった。それとは逆に、教育旅行の日程を移行した学校もあり、11月は増加となった。大島地区・唐桑地区ともに、新型コロナウイルスの影響により、50名を超える大型の受入れ(ツアーや学校等)が無く、特に10月は大幅な減少となった。ちよいのぞきに関して、新型コロナウイルスの影響で、受入事業者も体験者も慎重となり、開催できるプログラムが減少した。また、例年では全国から観光推進機構の視察でちよいのぞきの受入があるが、この期間の視察に伴うプログラムの受入れが無く、大幅な減少の一因となった。」

(1) 体験人数

① 同月前年比

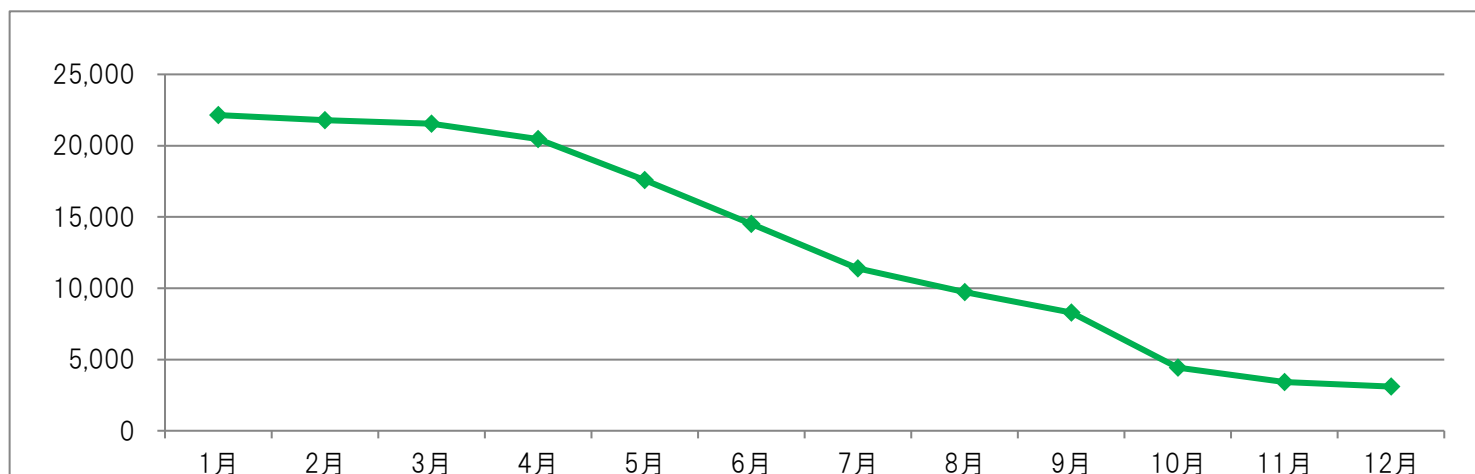
体験人数 (単位:人)	平成30年				令和元年				令和2年			
	10月	11月	12月	期間合計	10月	11月	12月	期間合計	10月	11月	12月	期間合計
語り部 (観光協会)	1,071	647	91	1,809	871	172	97	1,140	393	385	86	864
語り部 (伝承館)				0	2,839	1,113	320	4,272	2,036	2,150	572	4,758
大島地区	10	46	0	56	155	70	0	225	32	0	37	69
唐桑地区	93	100	8	201	294	14	18	326	83	26	0	109
塩づくり体験館 (階上地区)	92	36	2	130	65	46	3	114	124	60	76	260
ちよいのぞき	218	364	231	813	270	71	86	427	0	12	5	17
合計	1,484	1,193	332	3,009	4,494	1,486	524	6,504	2,668	2,633	776	6,077

② 年間推移



③移動年計

(単位:人)



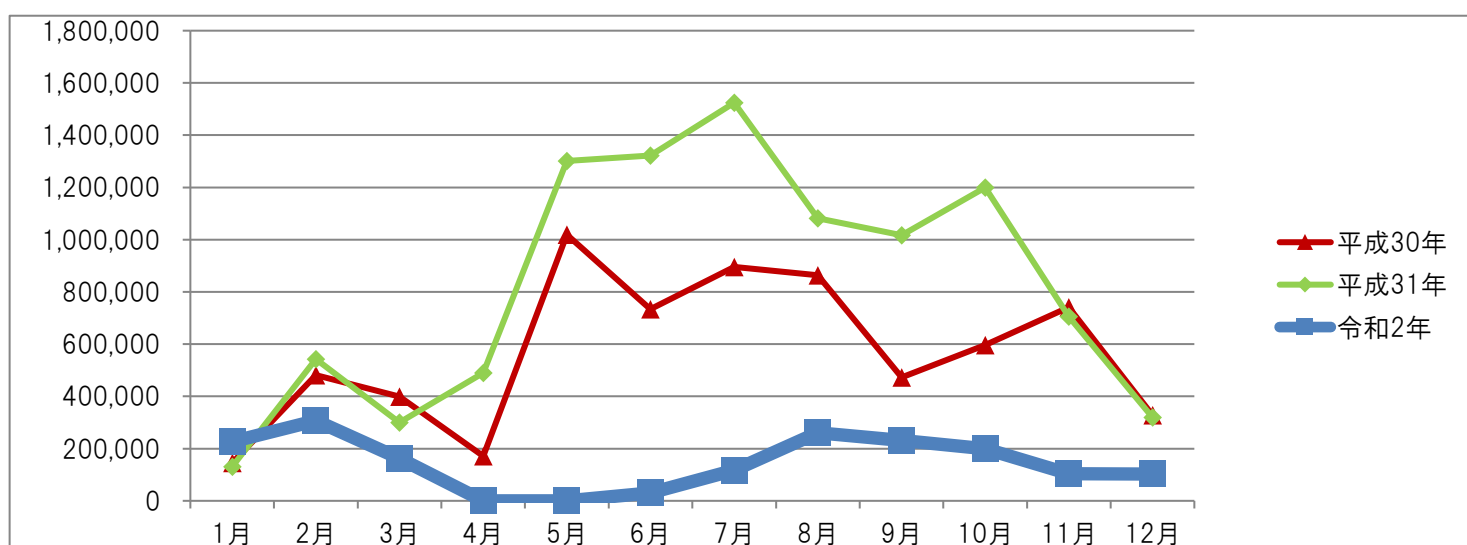
(2)体験金額

①同月前年比

体験金額 (単位:円)	平成 30 年				令和元年				令和 2 年			
	10 月	11 月	12 月	期間合計	10 月	11 月	12 月	期間合計	10 月	11 月	12 月	期間合計
語り部 (観光協会)	182,000	109,500	26,000	317,500	104,000	29,000	25,000	158,000	63,000	34,000	14,000	111,000
語り部 (伝承館)				0	634,000	472,000	93,000	1,199,000	459,000	454,000	156,000	1,069,000
大島地区	12,000	52,100	0	64,100	26,000	73,500	0	99,500	13,000	0	37,000	50,000
唐桑地区	64,000	69,000	11,500	144,500	120,400	10,000	35,000	165,400	61,000	32,500	0	93,500
塩づくり体験館 (階上地区)	46,000	18,000	1,000	65,000	32,000	20,800	1,500	54,300	62,000	23,000	38,000	123,000
ちよいのぞき	291,950	492,400	289,200	1,073,550	283,400	100,500	165,500	549,400	0	13,800	13,200	27,000
合計	595,950	741,000	327,700	1,664,650	1,199,800	705,800	320,000	2,225,600	658,000	557,300	258,200	1,473,500

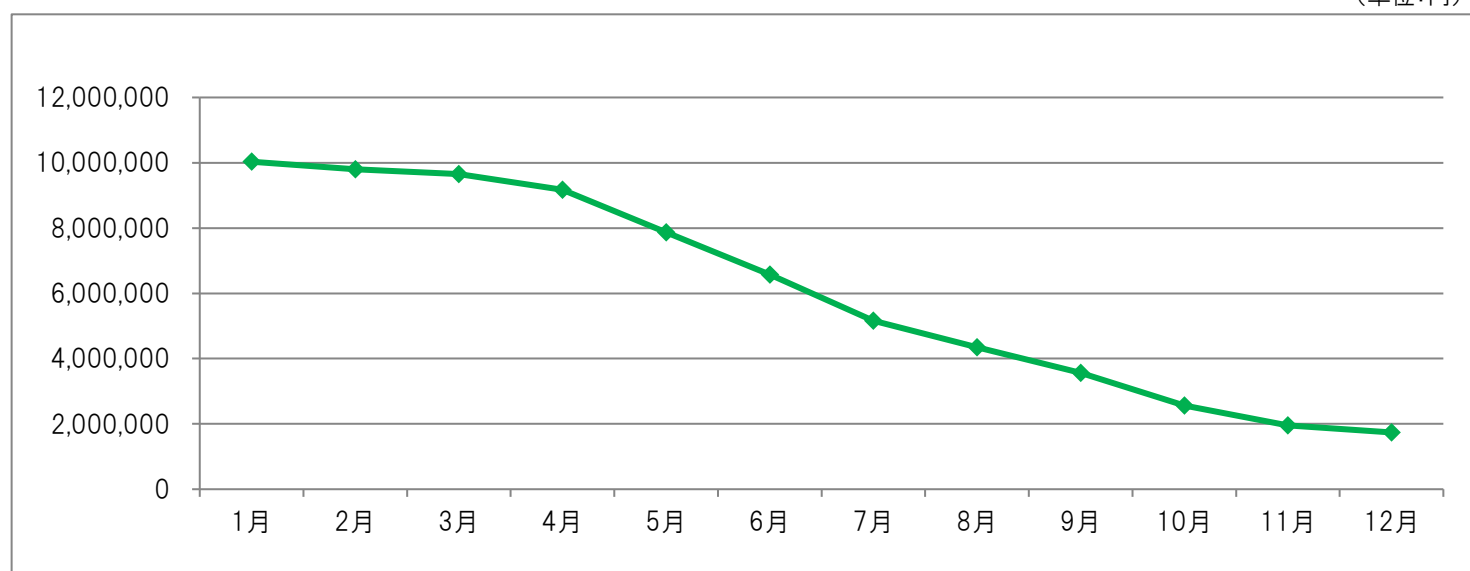
②年間推移

(単位:円)



③移動年計

(単位:円)



6. 観光案内所

＜観光案内所トピックス＞

・観光案内所利用人数の同月前年比は、10 月で 114.9%と増加, 11 月で 117.4%と大幅に増加, 12 月で 79.1%と大幅に減少した。

・「駅前観光案内所」の同月前年比は、10 月で 130.5%と大幅に増加, 11 月で 107.9%と微増, 12 月で 88.9%と大幅に減少した。

・「海の市観光サービスセンター」の同月前年比は、10 月で 108.1%と増加, 11 月で 122.2%と大幅に増加, 12 月で 75.7%と大幅に減少した。

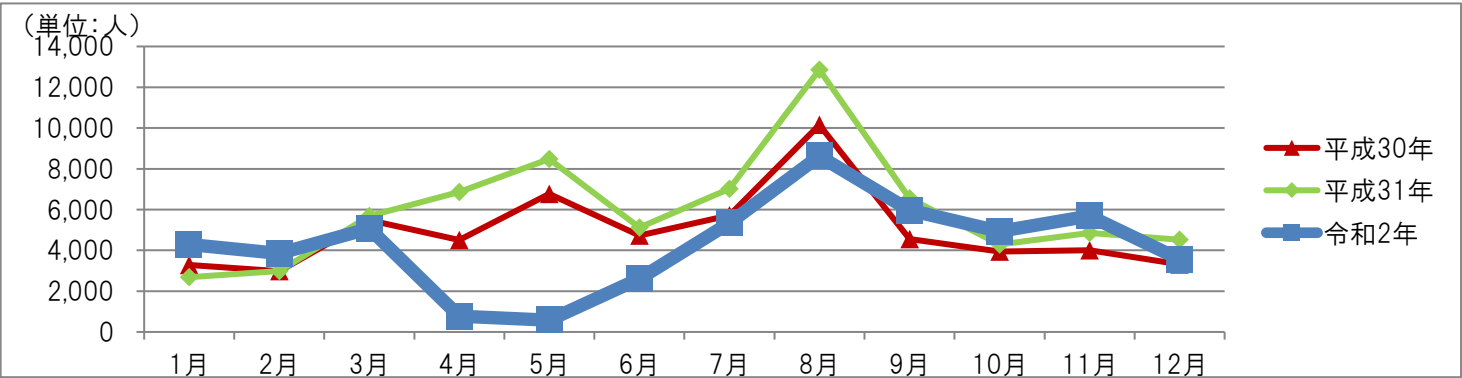
・12 月は、宿泊者数は同月前年比越えの数字を記録した一方、新型コロナウイルス感染症の影響もあり案内所利用人数は落ち込んだ。

・駅前観光案内所、海の市観光サービスセンターともに、GOTO トラベルや、県内の地域共通クーポンの発行スタートの効果により来訪者が増え、10 月の利用が増えたものと考えられる。特に駅前観光案内所に関してはレンタサイクルの利用数も増え、首都圏から公共交通機関で来訪された観光客が多かったのではないかとと思われる。12 月に関しては、新型コロナウイルス感染拡大により、GOTO トラベルの一時停止等の影響が利用者数の減少に繋がったと考えられる。特に、海の市観光サービスセンターでは 28 日～31 日は前年の半分以下の利用者数となっている。」

(1) 利用人数

観光案内所 (単位:人)	平成 30 年				令和元年				令和 2 年			
	10 月	11 月	12 月	期間合計	10 月	11 月	12 月	期間合計	10 月	11 月	12 月	期間合計
駅前観光案内所	1,435	1,429	1,368	4,232	1,309	1,643	1,153	4,105	1,708	1,773	1,025	4,506
来訪	1,310	1,330	1,285	3,925	1,196	1,558	1,065	3,819	1,641	1,723	981	4,345
電話	125	99	83	307	113	85	88	286	67	50	44	161
海の市観光サービスセンター	2,501	2,572	1,944	7,017	2,979	3,207	3,364	9,550	3,220	3,919	2,547	9,686
来訪	1,871	2,025	1,585	5,481	2,366	2,760	2,948	8,074	2,720	3,472	2,152	8,344
電話	630	547	359	1,536	613	447	416	1,476	500	447	395	1,342

(2) 同年間推移



(3) 移動年計

